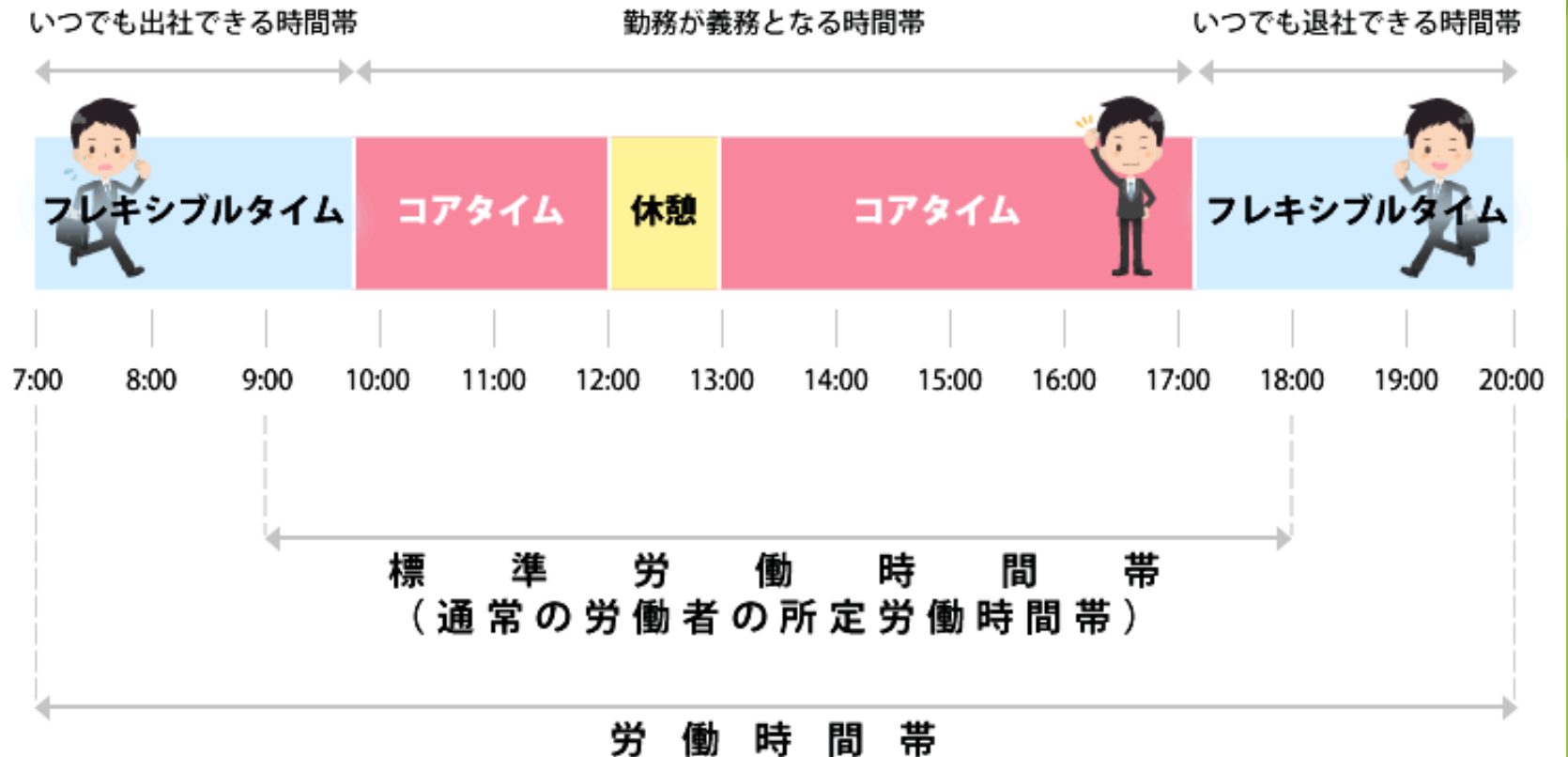


# フレックスタイム制 について

長野県 長野工業高等学校 情報工学科  
赤沼 健太 五十嵐 悠

# フレックスタイム制とは

## — フレックスタイム制 —



好きな時間に  
出社できる！

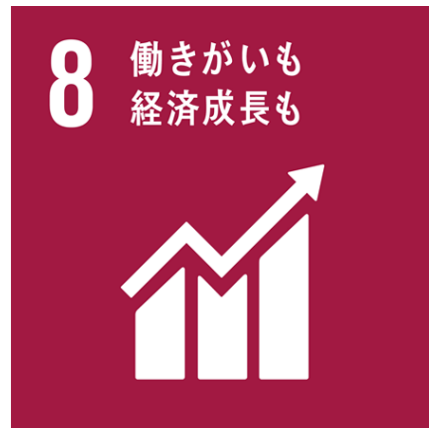
# 1 テーマ設定の理由

- ▶ 持続可能な社会を作り上げていくため、フレックスタイム制について調べ日本の経済成長の発展や人や国の不平等をなくしていく活動に貢献する。

# SDGsとの関連

⑧働きがいも経済成長も

⑩人や国の不平等をなくそう



# 2 現状

## 変形労働時間制の有無、種類別採用企業割合

(単位：%)

企業規模・産業・年	全企業	変形労働時間制を採用している企業 <sup>1)</sup>	変形労働時間制の種類（複数回答）			変形労働時間制を採用していない企業
			1年単位の 変形労働 時間制	1か月単位の 変形労働 時間制	フレックス タイム制	
			平成30年調査計	100.0	60.2	
1,000人以上	100.0	74.5	22.0	46.8	24.4	25.5
300～999人	100.0	68.8	29.9	35.6	10.7	31.2
100～299人	100.0	62.4	31.8	28.7	7.6	37.6
30～99人	100.0	58.2	37.4	18.1	3.9	41.8

出典「平成30年就労条件総合調査の概況」

# 3 問題点

フレックスタイム制を導入していない理由別事業場数の割合

(%)

理由	事業場数	労務管理が煩雑になる	取引先・顧客に迷惑がかかる	時間がルーズになる	社内コミュニケーションに支障が出る	就業規則の変更が難しい	その他	不明
調査産業計	1,279	44.5	64.9	29.5	31.5	10.6	11.6	2.2
10～29人	191	28.3	60.0	28.8	25.7	8.9	15.2	3.7
30～99人	472	39.4	64.6	31.4	32.4	10.4	9.7	2.5
100～299人	358	50.8	65.9	26.0	31.0	13.7	11.5	1.1
300～999人	205	59.0	67.3	32.2	33.7	8.8	11.7	1.5
1,000人以上	53	49.1	62.3	26.4	39.6	5.7	17.0	1.9

- ▶ メリットとして勤務時間をずらすことで通勤ラッシュを、避けられたり、個人の時間配分によって残業の軽減に繋がる。
- ▶ しかし、取引会社や他部門との連携をする際に、時間のずれが生じてしまう。

メリットが一部の企業では、デメリットになってしまっている部分もある!!

## 4 今後の課題

- ▶ 制度を適用する従業員の範囲を明確にする。
- ▶ 一人ひとり勤務時間などの管理能力が求められる。
- ▶ 一人ひとりにマイナスの影響が出ないような、意識をすることによりフレックスタイム制を使う会社が増え、ワークライフバランスにつながる。



# 5 SDGs実現に向けて

## ～ 10代からの提言～

- ▶ 全ての企業や自治体がフレックスタイム制を使うことによって長時間労働が減少しより働きがいを感じることにつながる。
- ▶ そこで、様々な会社でフレックスタイム制を導入し、持続可能な経済成長を目指していくべきである。

# 6 考察、感想

- ▶ フレックスタイム制について調べ労働に関する現状問題についての理解が深まった。よりSDGsに対する興味を持ち、SDGsに協力しようとする意識が高まった。